

【4】 Q&A ベンゾジアゼピン受容体作動薬を睡眠鎮静薬及び抗不安薬として使用する場合の適正使用について

ベンゾジアゼピン受容体作動薬は、承認用量の範囲内でも長期投与により身体依存を形成することが報告されており、減量、中止時に離脱症状が出現する可能性があります。

平成 29 年 3 月には、医薬品医療機器総合機構（PMDA）よりを睡眠鎮静薬及び抗不安薬として使用する場合の適正使用について通知されています。

**ベンゾジアゼピン受容体作動薬を
睡眠鎮静薬及び抗不安薬として使用する場合**
は、以下の点にご注意ください

◎**漫然とした継続投与による長期使用を避けて
ください**

- ・承認用量の範囲内でも長期間服用するうちに依存が形成されることがあります
- ・投与を継続する場合には、治療上の必要性を検討してください

◎**用量を遵守し、
類似薬の重複処方がないことを確認してください**

- ・長期投与、高用量投与、多剤併用により依存形成のリスクが高まります
- ・他の医療機関から類似薬が処方されていないか確認してください

◎**投与中止時は、漸減、隔日投与等にて慎重に
減薬・中止を行ってください**

- ・急に中止すると原疾患の悪化に加え、重篤な離脱症状があらわれます
- ・患者さんに、自己判断で中止しないよう指導してください

また、昭和 41 年～平成 15 年に出版された論文及び未出版の研究を統合した、高齢者（平均年齢 60 歳以上）における不眠へのベンゾジアゼピン受容体作動薬の有効性を検討したプラセボ対照無作為化比較試験のメタアナリシス結果を以下に示します。高齢者へのベンゾジアゼピン受容体作動薬投与は、転倒、認知機能障害等のリスクを増大させる可能性が示唆され、危険視されています。

アウトカム	研究数 (患者数)	効果推定値 (95%信頼区間)
主観的睡眠時間	8研究 (601名)	平均値差: 25.2分 (12.8, 37.8)*
中途覚醒回数	6研究 (441名)	平均値差: -0.6回 (-0.4, -0.8)*
睡眠の質	8研究 (719名)	標準化平均値差: 0.14 (0.05, 0.23)*
転倒	13研究 (1016名)	オッズ比: 2.6 (0.9, 5.4)
認知機能障害	10研究 (712名)	オッズ比: 4.8 (1.5, 15.5)*
日中の疲れ	7研究 (829名)	オッズ比: 3.8 (1.9, 7.8)*

引用：高齢者への向精神薬処方に関する研究

（主研究者 奥村 泰之；一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究部）

平成 30 年度診療報酬改定では向精神薬の多剤処方やベンゾジアゼピン系の抗不安薬等の長期処方の適正化推進のため、処方料・処方せん料が減算となる多剤処方の範囲を拡大するとともに、多剤処方時の報酬水準が適正化されました。

今回、改定内容の一部及び対象となる薬剤をまとめましたので、ご参照ください。

【向精神薬処方適正化に関わる平成30年度診療報酬改定について】

- 3種類以上の抗不安薬、3種類以上の睡眠薬、3種類以上の抗うつ薬、3種類以上の抗精神病薬又は4種類以上の抗不安薬及び睡眠薬の投薬を行った場合

評価の見直し	処方料	20点→18点
	処方せん料	30点→28点

- 一定期間以上、ベンゾジアゼピン系の抗不安薬・睡眠薬を長期にわたって継続して処方している場合について、処方料・処方せん料を適正化する。

新設	処方料	29点
	処方せん料	40点

〔算定要件〕

不安の症状又は不眠の症状に対し、ベンゾジアゼピン系の薬剤を12ヶ月以上、連続して同一の用法・用量で処方されている場合（ただし、該当症状を有する患者に対する診療を行うにつき十分な経験を有する医師が行う場合又は精神科医から抗不安薬等の処方について助言を得ている場合等特に規定する場合を除く。）

- 向精神薬の多剤処方等の状態にある患者について、減薬した上で薬剤師又は看護師と協働して症状の変化等の確認を行っている場合の評価を新設する。

新設	処方料：向精神薬調整連携加算	12点
	処方せん料：向精神薬調整連携加算	12点

〔算定要件〕

直近の処方時に、向精神薬の多剤処方等の状態にあった患者又は不安の症状または不眠の症状に対し、ベンゾジアゼピン系の薬剤を12ヶ月以上、連続して同一の用法・用量で処方されていた患者であって、減薬の上、薬剤師（処方料については薬剤師又は看護職員）に症状の変化等の確認を指示した場合

【本邦で承認されているベンゾジアゼピン受容体作動薬及び当院での採用状況】

一般名	当院採用薬名
アルプラゾラム	アルプラゾラム錠0.4mg「サワイ」
エスゾピクロン	ルネスタ錠1mg
エスタゾラム	ユーロジン錠2mg
エチゾラム	エチゾラム錠0.5mg「EMEC」、1mg「EMEC」
オキサゾラム	当院採用なし
クアゼパム	ドラル錠15mg
クロキサゾラム	当院採用なし
クロチアゼパム	クロチアゼパム錠5mg「トーワ」
クロラゼパ酸二カリウム	当院採用なし

クロルジアゼポキシド	当院採用なし
ジアゼパム	2mgセルシン錠、5mg同錠（科限）、散1%、 ダイアップ坐剤4mg、6mg（院外）、10mg
ゾピクロン	アモバン錠10mg
ゾルピデム酒石酸塩	ゾルピデム酒石酸塩OD錠5mg「EE」、10mg「EE」
トリアゾラム	当院採用なし
ニメタゼパム	当院採用なし
ハロキサゾラム	当院採用なし
フルジアゼパム	当院採用なし
フルタゾラム	当院採用なし
フルトプラゼパム	当院採用なし
フルニトラゼパム	フルニトラゼパム錠1mg「アメル」、 【製】フルニトラゼパム1%散
フルラゼパム塩酸塩	当院採用なし
ブロチゾラム	ブロチゾラムOD錠0.25mg「サワイ」
ブロマゼパム	レキソタン錠2mg、5mg
メキサゾラム	当院採用なし
メダゼパム	当院採用なし
リルマザホン塩酸塩水和物	当院採用なし
ロフラゼプ酸エチル	メイラックス錠1mg
ロラゼパム	ロラゼパム錠0.5mg「サワイ」
ロルメタゼパム	当院採用なし
クロナゼパム	ランドセン錠1mg、0.5mg、細粒0.1%
クロバザム	マイスタン細粒1%、錠10mg（院外）
ミダゾラム	該当薬剤なし
ニトラゼパム	ネルボン散1%（患限）

*注射剤を除く